



渋谷区立原宿外苑中学校

令和6年2月号（2月1日発行）

学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>



未来社会の創造に「対話」が果たす役割

校長 駒崎 彰一

先月号の学校だよりにて掲載した「各新聞社の元日の社説」を読み解く中で「対話」というキーワードが多かったことから、改めて「対話」について探究してみました。

現在の学校教育では、これからの未来社会で必要とされるスキル（資質・能力）を育成するために、日本全国で「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が進められています。これまでの教師が一方向的に「教える」授業から、児童生徒が主体的・協働的に学びを深めていく授業に変革していく取組です。（先日、本校で教育関係者向けに行われた「実践公開・カンファレンス」は、この授業デザインについて教育関係者が集い、対話し議論するものでした。）この「対話的な学び」とは、児童生徒同士の協働、教職員との対話、地域・企業等の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考える（資料等を通して対話すること）等を通して、自分の考えを広げ、深め、変えていくことです。学校教育においても「対話」は重要なキーワードになっています。

東京大学 藤井 輝夫 第31代総長は就任以来「対話を重視する」と宣言しています。同学の今後数十年を見渡した新しい基本方針「UTokyo Compass」（多様性の海へ：対話が創造する未来）において、「対話」について次のようにまとめています。

創造の方法において「対話」を重視します。対話とは、単なる話し合いや情報の交換ではなく、知ろうとする実践です。知るためには、問う必要があります。「問いを立てる力」は、対話の始まりに不可欠です。ただ問うだけでなく、その問いかけが、問いの共有、すなわち「ともに問う力」を生みださなければ、対話は深まってゆきません。問題に、ともに向かいあい、対話を通じて関わりあうことで、ともに見る、ともに感じる、ともに考えることを基盤とする理解が形成され、信頼が醸成されます。対話をもたらすのは、議することで推し進められる、多声の協奏です。そのように多様性が創造する未来を描くには、不公正や差別の理不尽、さまざまな社会的弱者の存在に対する鋭敏な感性をもち、課題と真摯に向きあう主体的な姿勢が要請されます。

現代の世界が直面している地球規模の複雑な課題への取り組みに際し、研究・教育や社会協創において、対話と信頼の相互連環こそが、新たな未来をひらくと信じています。

この「対話が創造する未来」とも参考になる考え方です。ポイントを抜き出すと

- 対話とは、単なる話し合いや情報の交換ではなく「知ろうとする実践」
- 対話を通じて「ともに見る、ともに感じる、ともに考える」ことを基盤とする理解が形成され、信頼が醸成
- 対話と信頼の相互連環こそが「新たな未来」をひらく

学校は「集団で学び、集団で生活」する場所です。まさに、「対話」を実践する場所そのものです。

日々、授業で対話を重ね「知ろうとする実践」を積み重ねること。そして、対話を通じて「ともに信頼」を築き上げる。さらに、この「対話」と「信頼」の相互連環が「未来社会の創造」するスキル（資質・能力）を育成につながると捉えることができます。

これからの学校は「学び方を学ぶ」場所であるといわれています。確かに、様々な「学び」を通して、「学び方（課題解決の方法）」学んでいく場所であるのは間違いありません。さらに、学校は「対話」の場所であるとする、対話による「知ろうとする実践」を通して、主体的に学び、他者との信頼関係を構築して「考え方を変える」場所であると捉えることができます。

先日、Intel株式会社が世界に展開している教員研修 Intel® Skills for Innovation を本校で展開しました。その研修の中で「教師はCatalyst（触媒：変化を誘発する者）」を目指すという考え方を学びました。

学校が地域コミュニティのCatalystとなって、「対話」と「信頼」の相互連環により、地域全体で「未来社会の創造」に取組んでいきたいと思えます。

げんきな免疫プロジェクト給食

「げんきな免疫プロジェクト」給食として1月15日～19日まで免疫機能を正常に働かせ、その状態を維持するため「免疫ケア」を考えた給食を提供しました。次週に予定されている都立推薦入試やスキー移動教室に備えていこう！という思いを込めた企画です。この結果、都立推薦入試そしてスキー移動教室期間中は元気に乗り切ることができました！！現在多くの企業や団体の協賛により全国展開されている「げんきな免疫プロジェクト」 <https://www.genkimeneki.jp/> とのコラボ企画でテレビ局の取材が入りました。



教育実践公開・教育カンファレンス

1月18日に本校の授業改善、校務改善、学びの変革等の実践を公開、この実践を基に対話（議論）する「教育実践公開・教育カンファレンス」を開催しました。多くの教育関係者の参加をいただきました。



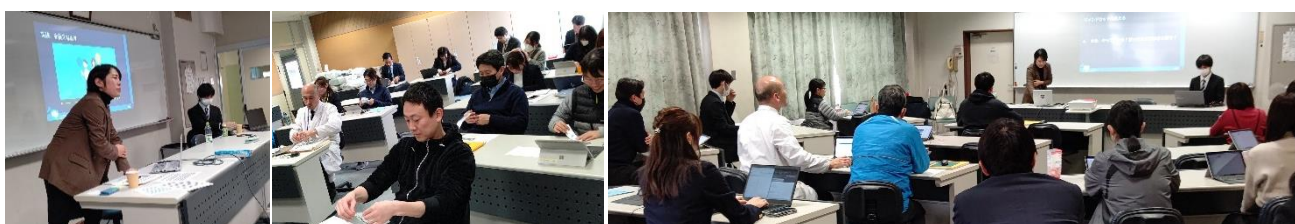
なみき祭（展示発表の部）

恒例のなみき祭（展示発表の部）。今年度は実技教科だけではなく「全教科が Art する」ことを目指して幅広い展示となりました。



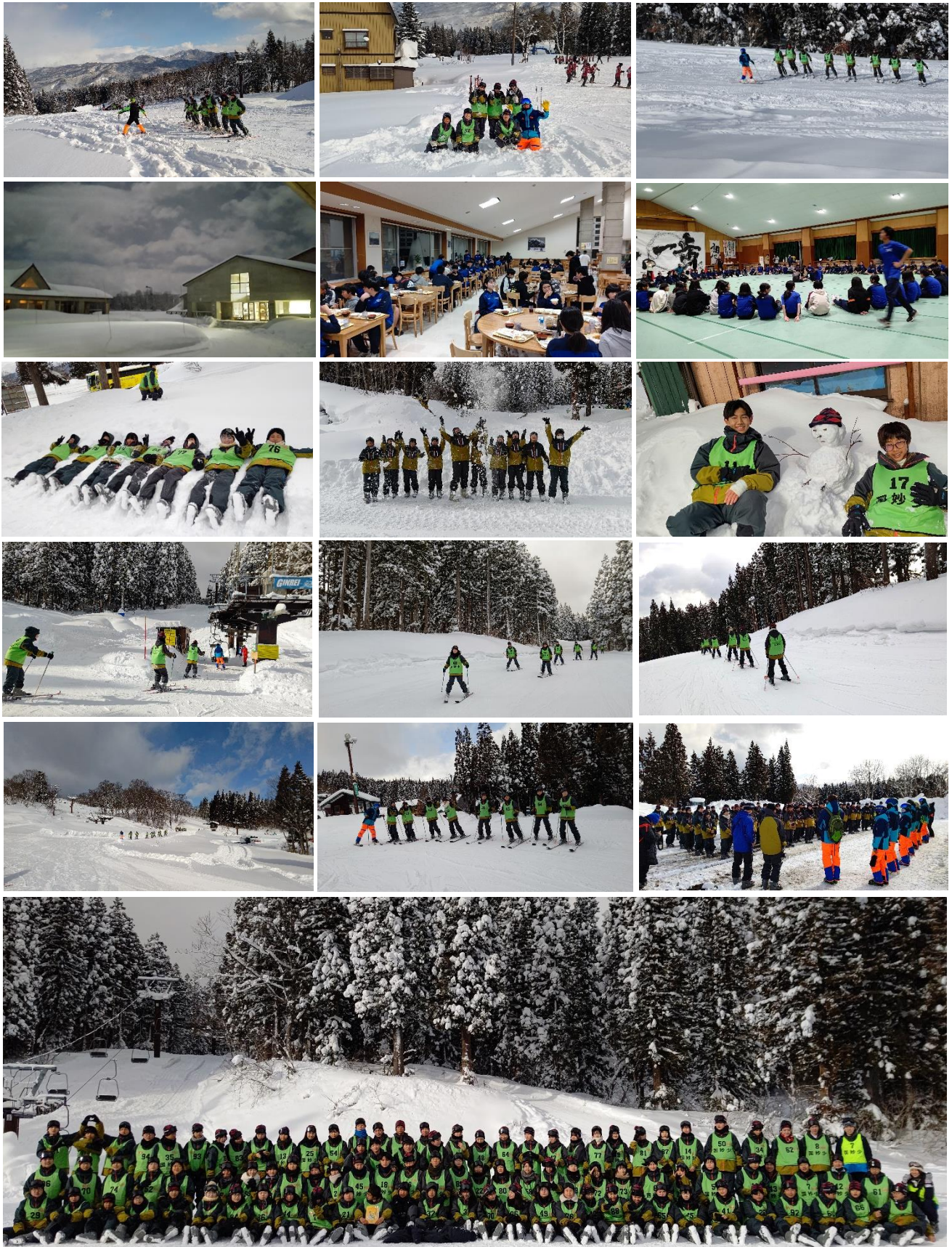
教員研修 インテル® Skills for Innovation

半導体メーカーである「インテル株式会社」とのコラボ企画。海外で展開されている教員研修「Skills for Innovation」を日本初の導入。 https://skillsforinnovation.intel.com/landing/index-Japanese.html#what_is_intel 教員研修も進化です。



スキー移動教室(2年生)

1月24日~26日の2泊3日で「国立妙高青少年自然の家」をベースに赤倉温泉スキー場でのスキーレッスン。最終日には、参加者全員がゲレンデを滑走できるようになりました。



生徒会交流会

1月27日(土)区役所14階大集会室にて、区立中学校8校の生徒会本部役員による交流会が開催されました。本年度、本校は運営(司会進行)を担当しました。他校生と「未来の学校生活」について対話を重ねました。



	日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
		中央委員会		職員会議・研修会	安全指導		
	11	12	13	14	15	16	17
	建国記念の日	振替休日	避難訓練	渋中研研究発表 TLD			土曜授業 CS 新入生保護者 説明会
	18	19	20	21	22	23	24
		生徒朝礼 TLD			後期期末(始)	天皇誕生日	
	25	26	27	28	29		
			後期期末(終)	職員会議・研修会			

	日	月	火	水	木	金	土
来月の 予定						1	2
						校外学習(1)	
	3	4	5	6	7	8	9
		全校朝礼 専門委員会	普通救命講習	中央委員会	安全指導		土曜授業
	10	11	12	13	14	15	16
		生徒朝礼 TLD	避難訓練 軽可搬ポンプ訓練	職員会議・研修会		卒業式予行	
	17	18	19	20	21	22	23
			卒業式	春分の日		大掃除	
	24	25	26	27	28	29	30
		修了式 職員会議・研修会	春季休業日始				
31							